

フレキシマやわ凸 症例報告 Vol.1

左右凹凸のみられる腹壁： ウロストミー編

函館五稜郭病院 看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師

仙石 真由美 先生

初めに

当院は道南医療圏における急性期病院としての役割を担っており、急性期入院主体の医療を提供している。2021年のストーマ造設は年間118例、ウロストミーが18例となっており、平均在院日数は11.6日である。急性期病院のため、在院日数は短く、ストーマケアの取得はシンプルにわかりやすい指導

を目指している。シンプルな装着として、昨今、軟性凸面の選択も多い状況の中、今回は最近発売されたビー・ブラウンエースクラップ社のフレキシマやわ凸ウロの症例報告を提示する。尚、倫理的配慮として、個人が特定されない様、配慮をしている。

患者背景

60歳代男性（漁師遠洋漁業従事）

- 膀胱全摘+回腸導管術
- ストーマサイズ：35mmの正円×高さ5mm
- 術後に発熱や腎機能低下があり、抗生剤や輸液投与、ネラトン挿入で尿量確保をし、腎機能も徐々に改善傾向に向かう
- 病棟で2品系CPbe系装具を選択していた

問題点

- ストーマ周囲上腹部に隆起があり、尾側に陥凹と深いしわが発生
- 外周テープ部に紅斑が確認された
- 患者さんの希望として、コストパフォーマンスの高い装具選択を希望



尾側に陥凹あり

問題点の対処方法

- 軟性凸面を採用
- 全面皮膚保護剤を採用
- ランニングコストをふまえ、単品系装具を選択

フレキシマやわ凸 ウロとプリングス半分を使用

経過① 初回交換時（3日間貼付後）

■使用のコツ

他社から変更した際の初回は、フレキシマやわ凸と尾側の陥凹部を補正するためにプリングス半分の2時～10時方向に使用

- 面板は保護剤の尾側に皺が寄っていたが、辺縁部はしっかり密着していた。
- 全周囲に5mmの溶解確認（若干の浸軟を確認）



3日間貼付/全周溶解あり



経過② 次回交換時（5日目）

プリングスは残り、バックアップフィルムが露出しているが問題なく経過。
外周部の密着良く、漏れもなし。
2回目にはプリングス用手成形皮膚保護剤を増量して貼付。

症例を通して

右図の様な凹凸のあるストーマに対して、2品系装具では追従できないケースに対して近接部の凹凸を追従させるために軟性凸面を使用するケースは多い。2品系だと嵌合部も含めしなやかさがなく、装着しても短期での使用となってしまう。今回のケースでは高さ6mmのやわらかい凸面が貼付面にしっかり追従し、週2回交換で生活ができている。また2品系からの装具変更ということで、コスト面からも改善できた。患者からのコメントとしては排泄口がシンプルで操作性も高く、好印象を受けた。フレキシマやわ凸は選択肢の1つとして検討できると考える。

製造販売元

ビー・ブラウンエースクラップ株式会社

本社：〒113-0033 東京都文京区本郷2-38-16

カスタマーサービスセンター：

0120-401-741（フリーダイヤル）

コーポレートサイト：www.bb Braun.jp